

査読ポリシー

沖縄県理学療法学術大会に応募された演題は以下の査読ポリシーの下に査読されます。

-応募演題への査読者割り当て応募演題1題につき原則3名の査読者が査読します。

-査読者が演者（筆頭、共同含む）になっている演題と査読者の所属施設から応募された演題は、当該査読者に割り当てません。

1.「演題名とキーワードが適切か」

演題名：適切な長さで、発表の核心部分を的確に説明できているか

キーワード：発表のトピックとして適切か。標準的な用語になっているか。

2.「はじめに、目的が適切か」

背景と目的が記載されているか。意義（何のために行うのか）について記載があるか。

3.「方法（または症例紹介）が適切か」

妥当性を判断するに必要な情報が記載されているか（統計を含め妥当か）。

記載の順序が適切か。

4.「結果（または経過）が適切か」

客観的数値で示されているか。呈示順序が適切か。目的が結果に反映されているか。

5.「考察が妥当か」

論理の飛躍がないか。客観的数値や先行研究結果に基づいて議論されているか。

6.「倫理的配慮、説明と同意が適切か」

何（誰）を対象とするのか、データをどのように管理するのか記載があるか（倫理的な欠陥がない）

7.「今回の目的や結果が独創性、新規性があるか」

独創性、新規性がどこにあるのか、先行研究と比較しながら明瞭されているか。

8.「今回の結果が理学療法の発展に寄与するか」

結果がどのように理学療法（またはリハビリテーション）に貢献できるか記載があるか。